

伊藤ひろみ

日本共産党

党福生市委員会シエンダー平等対策室長

池田公三
市議から



伊藤さんが人の「困りごと」に共感する優しさは、憲法が持つ「愛」に通じているのでしょうか。
シングルマザーとして子育て・仕事・市民運動などにパワフルに取り組んできた経験を生かして、私以上に活動できる方だと自信をもって推せんいたします。

福生市議会議員 池田公三

バトントンタッチ！

若いころ、自己肯定感が低く、生きにくさを感じていた私の目に「憲法を暮らしに生かそう」という言葉が目飛び込んできました。憲法13条「すべて国民は個人として尊重される」に感動し、「いちばん大切な条文だ」と感じました。私も一人の人間として尊重されるのだ、憲法には愛があるのだと知ったのです。

法が十分に生か

されていません。国民の賛成が多い「選択的夫婦別姓制度」でさえ、統一協会の影響もあり、世界で日本だけが実現していません。

私は、市民のみなさんが直面している命とくらし、人権などの問題に、一緒に、憲法の理念を生かして取り組んでいきます。「福生で暮らしについてよかった」と思っていたできるように頑張ります。

シエンダー平等を
福生から

- 1958年、山梨県の酪農農家に生まれる。
- 5歳の時、父親の事業（病院寝具のリース業）のため、東京・昭島市に転居。都立多摩高校、東京工学院専門学校情報処理科卒業。
- IT関連会社を経て22才の時、父親経営の富士リネンサプライに就職。30代で会社の経営に参加。
- 2022年退職。この間、子育て・仕事に奮闘する中、市民運動や公民館活動に積極的に参加。
- 趣味は生け花、洋裁、合唱、茶道表千家

簿記2級 ファイナンシャルプランナー

日本共産党福生市委員会は伊藤ひろみさんの活動について発表しました。

福生民報

2022年 日本共産党福生市委員会伊藤ひろみ活動地域版
11月 責任者 太田 興亜 福生市志茂115 101号室

なんでも
生活相談

伊藤ひろみ

090-3692-1333

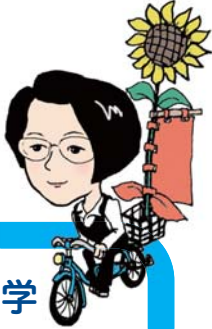
憲法が私の原点です！ 日本共産党

農家に生まれ自然の中でのびのびと

伊藤さんは、山梨県で酪農を営む農家の長女として生まれました。豊かな自然の中で伸び伸びと育った。馬に乗っている人を見て、自分もやってみたくなり、家の愛犬ポチに乗ろうとしてポチを困らせたこともありました。



伊藤 ひろみ



コンピュータに興味を持ち進学

4才の時、両親が病院寝具のリース業を開業するため、昭島市、瑞穂町、青梅市と転居が続きました。中学校では合唱部で活動し、勉強の得意科目は英語・数学でした。高校では卓球部に所属しましたが、その頃、コンピュータに興味を持ちはじめ、東京工学院専門学校情報処理科に進学しました。

個人を尊重する憲法との出会い

学校卒業後は、ソフトウェアの会社に就職しましたが、自分に自信や誇りが持てずに悩んだ時期でした。

このころ、日本共産党と出会い、学んだ日本国憲法の「すべて国民は個人として尊重される」(第13条)に感動したことが、私の政治の原点です。

障害者雇用に取り組む経営に参加

22才で父親の経営する富士リネンサプライ株式会社(瑞穂町)に転職。簿記2級、第1種衛生管理者資格を取得し、30才から経営に参画。障害者相談員の資格を取得し、障害者雇用や相談に取り組みました。

誰もが生きやすい社会へ

福生市すずらん会(母子寡婦福祉会)や福生生活と健康を守る会、生け花サークルで活動し、松林会館利用者交流会の会長も務めました。通信大学の学習サークルを作り、経済・哲学について学びました。

誰もが生きやすい社会づくりに参加していこうと、ファイナンシャルプランナーの資格を取得しました。



くらしの困難に向き合う政治の決意

池田議員とともに市民の生活相談に取り組んだり、議会を傍聴する中で、くらしの様々な困難に政治が向き合うことの重要性を強く実感しました。そして、池田さんの活動を引き継ぐことを決意しました。

一緒に実現しましょう！

学校給食の無償化で人口・児童数減少にストップを

だれでも乗れる市内循環バスでお出かけしやすい街に

市民会館(大ホール)・中央体育館・小学校(7校)の存続を

国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料の引き下げを

基地や米軍機の被害をなくし、横田基地は日本に返還を